

Altenpflege 2010

3月23日から25日までニーダーザクセン州の州都、ハノーバーは「高齢者介護専門見本市」によって、介護業界にとっての国際的な一大中心地となる。出展社は700社以上で、4つのホールを使用し、総出展面積は55,000 m²に及ぶ。展示以外に特別ショー、管理・看護会議、高度な専門フォーラムが用意されており、介護業界の重要なテーマと傾向をこれほど広範囲に展開する展示会はこの見本市を置いて欧州では他にない。

介護市場は急激なテンポでダイナミックに展開する成長市場であり、現在、70万人を超えるといわれる入院介護人口は2020年までに100万人を超えると予想され、その市場規模は、現在の270億ユーロから450億ユーロに達すると見られている。また入院介護施設も現在の11,000から13,000以上の施設数に増大する。

介護市場のこうした背景により、政治にも、また介護ホームやデイサービスの経営者や管理者にも新たな問題が毎日のように生まれている。また介護要員も新たな問題に対応するために、常に新たな課題に立ち向かわなければならない。今年の見本市では、介護や調理、家政部門など各分野で専門フォーラムも開催され、来場者はその場で業界の新製品、最新の傾向や動向について、情報収集や意見交換を行うことができる。

ハノーバーでは初めて雇用紹介所が開所される。これは2009年のニュルンベルクでの成功に習い、介護施設の運営者や事業者が改めてこの雇用紹介所で職場を紹介する。